The Engaru Rotary Times 2025-2026 No.08

第 3179 回例会記録	本日のプログラム	次回のプラグラム
日時:2025 年 9 月 11 日(木)12:30~ 会場:ホテルサンシャイン2F	9 月 19 日(金)10:00~ 委員会担当例会 担当:社会奉仕委員会	9 月 25 日(木)18:00~ ガバナー公式訪問例会
佐渡正幸ガバナー地区スローガン	Rotary のことを熱く語ろう！～Rotarian Benefits を紡ぎ、そして育むために～	
大西孝拡会長テーマ	ただひとつ 原点回帰	

会長報告 **成田弘明副会長**

皆様、お元気ですか！

本日会長欠席の為、私より報告させて頂きます。「会長報告はございません」・・・沈黙・・・と言いますと、会場内の空気が変わり、下を見ていた方も一同にして会長を見上げるかと思います。

ある方に会長報告は「報告なんだから無くても良い」と言われていましたが、中々その勇気をもって登壇する会長は現れませんでした。

10 年ほど前に当時の会長に毎回の報告が大変だったそうなので、私が一度チャレンジしてみればと提案し実行しましたところ、案の定会場は少し重い空気が感じられ、例会終了後にメディア委員会から会報が埋まらないというクレームが出、それ以後会長報告無しということは聞いたことがありません。

毎週の会長報告の大変さも知ってます。週明けになり木曜日が近づきますと、ブルーな気持ちになり無理に何か報告事項を探す。できれば会長挨拶の方が楽だったのかもしれないと感じていました。

今後会長をされる方は、アンテナをのばし、先ずは RI や地区や分区の情報を優先し、その次にクラブや身近な事を報告すれば良いかと思いますし、報告は無くても良いと思いますが、その時は事前にメディア委員会に伝えておいた方が親切かと思います。

本年度は例会数も若干少なく、会長は話題豊富なので期待して例会の会長報告を楽しみにして下さい。

尚、出席委員長の後任は山田会員にお願いしました。須藤副委員長が体調不良のためです。1月からは安達会員の後任の方にお願いする予定です。

幹事報告 **加藤幸徳幹事**

報告事項が 4 件あります。

1.例会プログラムの変更について、文書を配布しております。
ご確認ください。
2.JC、花火大会実行委員会よりお礼を頂いております。
回覧しております。
3.家庭学校園遊会についての案内が来ております。
回覧しております。
4.遠軽町より街頭啓発の依頼文が届いております。
回覧しております。

委員会報告

転勤される安達会員より

10月から小樽に転勤となります。今日が最後の例会です。出席委員長を仰せつかりながら中途で転勤となり、申し訳ありません。1年未満でしたが楽しく活動できました。ありがとうございます。後任もお世話になりますのでよろしくお願いします。

社会奉仕委員会 井上英勝委員長

来週の19日(金)は秋の交通安全該当啓発活動です。9時50分までに集合してください。街頭啓発活動の後例会が行われます。

プログラム委員会 乾淳委員長

次回例会は19日(金)です。交通安全街頭啓発活動が例会扱いとなっておりますので、欠席される方は必ず事務局にその旨連絡してください。連絡がない場合は無断欠席となりますのでご注意願います。

本間会員より

商工会議所からのお知らせです。9月23日(火)13時30分よりメトロプラザにて「認知症を知ろう」のテーマで公開講座が行われます。認知症は他人事ではありません。奮って参加してみてください。

本日のプログラム **国際奉仕委員会担当**

高橋義詔委員長卓話

今日は、ロータリークラブにおける「国際奉仕委員会」についてお話しをさせていただきます。まずはロータリーの目的です。「ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を推奨し、これを育むことにある」とし、具体的には 第1に知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること。 第2に職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。 第3にロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々奉仕の理念を実践すること。 第4に奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。 となっています。ロータリークラブは地域活動に根ざしていますが、同時に世界に広がるネットワークを持ち、国際社会に向けた奉仕も行っています。その中心を担うのが国際奉仕委員会です。まず最初に国際奉仕について話させていただき、その後は遠軽ロータリークラブの国際奉仕委員会の現状を話したいと思います。

・国際奉仕の位置づけ ロータリーには五大奉仕部門で「ク

ラブ奉仕・職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕・青少年奉仕」という5つの活動領域があります。その中で国際奉仕は、地域を超えた支援、国境を越えた交流を担当しています。これは「世界理解・平和・友情の推進」というロータリーの理念に直結しています。

・歴史的な背景　ロータリークラブが国際的な奉仕に力を入れ始めたのは1920年代です。第一次世界大戦後、世界平和への関心が高まった時期に、国際奉仕という概念が導入されたそうです。以来、ロータリーは「人と人をつなぐ組織」として活動してきました。戦後は世界各地でクラブが誕生し、今では200以上の国と地域に広がっています。国際奉仕委員会は、この大きなネットワークを生かし、クラブ単位で国際的な交流や支援を実施する役割を果たしています。

・国際奉仕委員会の主な活動　国際奉仕委員会の活動は、大きく3つに分けられます。

① 国際理解と親善の推進

海外クラブとの交流や姉妹クラブ提携、国際大会への参加です。これらは文化を知るだけでなく、信頼関係を築く土台になります。

② 国際的な奉仕プロジェクト

発展途上国での教育支援や医療支援、災害支援などがあります。たとえば学校建設、井戸掘削、病院への機材提供などです。これらは単なる支援でなく、自立を後押しすることが重視されています。

③ ロータリー財団との連携

財団の補助金を活用すれば、クラブだけでは不可能な規模の事業ができます。その代表例は「ポリオ撲滅活動」です。1985年に始まり、世界中でワクチンを届ける活動を続けた結果、ポリオ発症国はわずか2カ国まで減りました。国際奉仕委員会がこうした活動への窓口になります。

・具体的な事例

①水と衛生のプロジェクト：アフリカで井戸を掘り、子どもたちが学校に通えるようになった例。

②教育支援：アジアの農村部で奨学金を設け、進学を支援。

③医療協力：南米で医療器材を提供し、現地の診療体制を改善。

これらはすべて「一方的な援助」ではなく、現地のニーズを確認し、現地の人と協力して進めるのが特徴です。

・国際奉仕の意義

国際奉仕には3つの意義があります。

①人道的支援：困っている人々を助ける。

②相互理解：異なる文化を知り、自分たちの考えも広げる。

③クラブの活性化：会員が誇りを持ち、活動にやりがいを感じる。

以上のように、国際奉仕委員会はロータリーの理念を世界規模で実現する委員会です。地域に根差しながらも、国境を越えてつながる。それがロータリーの強みであり、私たちが大切にすべき姿勢です。どうか国際奉仕を自分ごととしてとらえ、日々の活動や人との交流の中に少しでも生かしていけたら良いと感じました。

次に遠軽ロータリークラブの今年度事業方針の確認と進捗状況について話したいと思います。事業方針については①ロータリー財団への協力（年次寄付会員一人150＄、ポリオ寄付会員一人50＄、ポールハリスフェロー、マルチプルポールハリスフェローへの協力）②例会プログラムの活用（現在実施中）③財団セミナーへの参加（7/27釧路にて参加済み）④地区補助金活用の検討（遠軽町役場新庁舎へのデジタルサイネージ寄贈準備中）⑤ロータリーデーの検討（日程検討中）⑥ポリオ募金活動による遠軽ロータリークラブの認知向上（雪提灯などのイベントで実施したい）

以上が現在までの経過であります。これからも事業完遂にむけて参りますのでよろしくお願い致します。

■Today‘s　Snap！

転勤される安達会員へ餞別を進呈

髙橋委員長による卓話

安達会員最後のお勤め　出席報告

■ニコニコBOX

成田会員（誕生日5000円）

2025-26年度累計106,000円

■出席報告

例会日	会員数	出席計算会員数	出席者数	メイクアップ	出席率	無断欠席
9/4	45	44	28	3	70.5	0
9/11	45	44	30		68.2	0

■編集・発行：メディア委員会

委員長：宇野　勝　　副委員長：佐藤直也

委員：植村涼子・黒坂貴行・長嶋宏明・吉田昌子